



詐病で人は死なない

ウィシュマさん遺族ら 維新議員発言を批判

スリランカ人のウィシュマ・サンダマリさんが入管施設で亡くなった事件を巡り、日本維新の会の梅村みづほ参院議員の発言が問題になっています。梅村氏は参院本会議（12日）で、「支援者の一言が『病気になれば放

釈放してもらだる』とのつたい期待を抱かせ、医師から詐病の可能性を指摘される状況へつながったおそれも否定できない」と質問。ウィシュマさんの遺族と代理人弁護士らは17日、都内で記者会見を開き、事実でない発言で遺族を深く傷つけたと抗議しました。

会見で指宿昭一弁護士は「支援者の対応が違つたらウィッシュマさんは助かっていたかのようになりますは間違ひだ」と指摘。駒井知念弁護士は「詐病で人は死ない。ウィッシュマさんの尊厳を死してなお踏みにじる」と述べ、謝罪と撤回を求めました。

ウイッシュマさんと面会している松井保憲さんは「梅村氏はウイッシュマさんが難民ではなく不法滞在だったと強調しているが、DLM（ドメスティックバイオレンス）被害者であったことを軽視している。帰国すれば同居していた男性から殺される危険を感じていた」と指摘しました。梅村氏に対し弁護士らは16日に質問状を送付し、ウィッシュマさんが「期待」した事実はあるのかと質問。梅村氏は同日の参院法務委員会での質問を利用し「事実はないが可能性はある」と回答していました。17日の会見で弁護士らは「事実でなければ可能ではない」と説明しました。